

ひとはく研究員・台北市立動物園研究員と生物調査を体験する充実の7日間!

第4回

# 高校生のための生き物 調査体験ツアー in台湾

泊  
6  
日  
7

2019. 8.2 ▶▶▶ 8.8



シカクワガタ *Pogonocherus senarius*



バナナの花 *Musa sapientum*



タイワンゴキウイ *Micropodops nuchalis*



タイワンアサギ *Ophiophagus major*



アオササギハバタ *Graphium crataegi*



ライトトラップ観察



キノボリトカゲの食性調査

## ツアーの魅力

兵庫県立人と自然の博物館(ひとはく)の研究員らの指導のもと、動物・昆虫・植物を台湾の高校生と一緒に観察します。

拠点となるのは台北市立動物園と東眼山国家森林遊楽区。標高が異なるこれら二つの土地には、それぞれ土地に適した生き物が生息する豊かな森が広がっています。

動植物の観察や実習を通して、亜熱帯の生物多様性を体験しよう!

## 博物館研究員が同行します



秋山 弘之  
コケ植物・キノコ



太田 英利  
陸上動物



池田 忠広  
爬虫類・両生類



布野 隆之  
鳥類

## エントリー大募集!

エントリー対象 高校1年生～3年生

エントリー方法 花博記念協会HP掲載のエントリー要項参照

締切 2019年5月22日(水) 必着

募集人員 20名 最少催行人数10名

旅行代金 お1人様 128,000円

消費税、燃油サーチャージ、航空保険料、海外空港税、関西国際空港施設利用料を含む

※このツアーは研修企画団体による書類審査を経て参加者を決定いたします。  
※ツアーへの参加が決定後、改めて株式会社JTBへの旅行の申請が必要です。



花博記念協会  
facebook  
昨年8月の記事から  
ツアーの様子をご覧  
いただけます。

お問合せ

公財) 国際花と緑の博覧会記念協会 (花博記念協会)  
企画事業部 第2課  
TEL: 06-6915-4513 (平日 9:30 ~ 17:30)  
Email: hanahaku-taiwan@expo-cosmos.or.jp

# ツアー概要

## ◆旅行日程(予定)

	月日 (曜)	地名	現地時刻	交通期間	予定	食事
1日目	8/2 (金)	関西国際空港 桃園国際空港 台北市内動物園	11:10 13:05	BR177 (NH5833) (コードシェア便) 専用バス	関西国際空港 発(エバー航空) 桃園国際空港 着 動物園へ移動 台北市立動物園 ・日台高校生 対面 ・遊歩道での生物観察 (台北市立動物園内施設(泊))	昼: 機内食 夕: 動物園内レストラン
2日目	8/3 (土)	動物園 台北市内東眼山	午前 午後	専用バス	・鳥類観察など 台北市立動物園 発 東眼山自然教育センター 着 ・オリエンテーション (東眼山自然教育センター内宿泊施設(泊))	朝: 動物園内軽食 昼: 研修施設 夕: 研修施設
3日目	8/4 (日)	東眼山	午前 午後 夜		・生き物調査 ・同定および植物標本づくり等 ・夜間生き物観察(ライトトラップなど) (東眼山自然教育センター内宿泊施設(泊))	朝: 研修施設 昼: 研修施設 夕: 研修施設
4日目	8/5 (月)	東眼山 台北市内	午前 午後	専用バス	東眼山自然教育センター 発 台北市内 各所見学 ・龍山寺、博物館、夜市等見学 (ハイワンホリデイホテル(泊))	朝: 研修施設 昼: 市内にて班行動 夕: 夜市にて班行動 班行動時は各自食事
5日目	8/6 (火)	台北市内動物園 台北市内	午前 午後 夜	専用バス 専用バス	台北市立動物園 着 ・キノボリトカゲの食性調査など 台北市内ホテルへ移動 (ハイワンホリデイホテル(泊))	朝: ホテルビュッフェ 昼: 弁当 夕: 動物園内レストラン
6日目	8/7 (水)	動物園 台北市内	午前 午後	専用バス	台北市立動物園 着 ・生き物調査 ・ポスター制作 台北市内ホテルへ移動 (ハイワンホリデイホテル(泊))	朝: ホテルビュッフェ 昼: 動物園ビュッフェ 夕: 台北市内レストラン
7日目	8/8 (木)	台北市内 桃園国際空港 関西国際空港	午前 13:35 17:15	専用バス BR130 (NH5828) (コードシェア便)	空港へ移動 桃園国際空港 発(エバー航空) 関西国際空港 着	朝: ホテルビュッフェ 昼: 機内食

## ◆ツアー同行者

・兵庫県立人と自然の博物館 研究者 4名

秋山 弘之 主任研究員

コケ植物の分類が専門。キノコや花の咲かない植物も担当します。

太田 英利 研究部長

陸上動物の系統進化と歴史生物地理について研究しています。

池田 忠広 主任研究員

カエル・トカゲ・ヘビ類といった小型の爬虫・両生類の分類・進化を専門に研究しています。

布野 隆之 研究員

鳥類が専門。特にタカなどの猛禽類や都市のカラスについて研究しています。

・花博記念協会 職員 3名

・看護師(日本人女性) 1名

ほか、現地スタッフ多数

## ◆宿泊施設

・1日目 台北市内  
台北市立動物園内施設

・2～3日目 桃園市内  
東眼山自然教育センター内施設

・4～6日目 台北市内  
ハイワンホリデイホテル  
(旧: ホリデイインイースト台北)

※プログラムは追加・変更になる可能性があります。 ※このツアーはエントリー後の研修企画団体による書類審査を経て参加者を決定いたします。

# 活動内容

## ◆日中の観察



台北市立動物園内と東眼山という標高差のある二つの土地では生息する生き物の種類も大きく異なります。それぞれの場所で日本では見ることのできない生き物の観察を通し自然の奥深さと生物多様性を体感しましょう。

## ◆夜間観察・ライトトラップ



夜間は様々なヘビやカエルを観察することができます。東眼山ではライトトラップも行います。ライトからの紫外線により夜行性昆虫をおびき寄せるもので、多くの昆虫が飛来します。

## ◆キノボリトカゲの食性調査



キノボリトカゲの口から水をスポイトで流し込み、水をもう一度スポイトで吸い取ります。この手法によりトカゲを殺すことなく、胃の内容物を調査・観察します。

写真: キグチキノボリトカゲ

## ◆鳥類観察



台湾の総面積は日本の約10分の1ですが、面積に対して遥かに多くの鳥類が生息していることが知られています。観察しながら専門家の解説を受け、様々な鳥類の行動とその生態的意義を実地で学ぶことができます。

## ◆参加者同士の交流



参加者同士の交流も魅力の一つで、日台それぞれの参加者が寝食を共にして交流を深めます。たとえ英語が苦手でも、漢字や翻訳アプリ等を駆使して実践的な交流を図っててください。

## ◆昨年観察された生物(一部)

プリンセス・ヴァイン、ハナシュクシャ、ベニツツバナ、プルメリア、クワズイモ、ハブカズラ、リュウビンタイ、ヘゴ、オオタニワタリ、マキノゴケ、ケゼニゴケ、ホウライシギゴケ、キヨスミイトゴケ、アカスジベッコウトンボ、タイワンモリバッタ、タイワンクツムシ、シェンクリンオオクワガタ、タイワンヒラタクワガタ、タイワンネフトクワガタ、シカクワガタ、マルバネリマダラ、ツマグロヒョウモン、タイヤルセダカヘビ、タイワンアオハブ、アマガサヘビ、キグチキノボリトカゲ、スウィンホーキノボリトカゲ、タイワンハナサキガエル、ヒスイアオガエル、ヤマムスメ、タイワンゴシキドリ、シロガシラクロヒヨドリ、カムリオオタカ、オオアカゲラ、ハッカチョウ、カムリオオタカ 他多数